

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ
平成27年8月27日
www.yamagata-rinri.net

volume
42

笑顔の伝承。



平成27年度 会長挨拶 五十嵐 慶三
年度を振り返って p.2

今年も来ました！雄大な飯豊連峰の麓、小国町
第23回ブナ文化フォーラム開催 p.4-6

倫理経営企業訪問・えがおのげんは
株式会社 安藤組 p.10-13

平成27年度 14単会 PICK UP通信 p.15-21

- 拡充発表会 p.3
- 山伏修行体験塾 p.7-9
- 女性倫理講演会 p.14
- おもしろ経営塾 p.22
- 超常識を愉しむ p.23

広報最上川 volume 42

【発行】山形県倫理法人会
【発行人】五十嵐慶三【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏

倫理ビギナーの 素朴な疑問 にお応えします。

倫理法人会に入会しただけ、あまり活動に参加できず、倫理実践のハードルが高くなってしまった会員の方に向けて、いまさら聞けない素朴な疑問に優しくお応えします♪

Q. よく勧められる活力朝礼ですが、目的とメリットを教えてくださいませんか？

A.

活力朝礼の目的は、単に社内チームワーク力を高め、モラルアップを図る場としてだけでなく、人が人として正しく生きていく力（人間力）を養う場とすることが重要です。生きがいと感動、発見と気づきによって人生は豊かになり、人の役にたっている、社会へ貢献しているとの実感が仕事の喜びをさらに深めるものです。働く意欲を高め、喜びの和を広げ、人間教育の場として活力朝礼をとらえることが肝要です。

活力朝礼のメリットと効果

導入することにより、期待される5つの効果

- ① ウォーミングアップ（仕事に向かう心身の準備）
- ② 情報の共有化（連絡・報告など）
- ③ 目的意識の確認（企業の未来と目標を確認）
- ④ 基本動作の習得訓練（企業・サービスの質的向上）
- ⑤ チームワークの強化（『職場の教養』でモラルアップ、相互理解の深化）

メリット

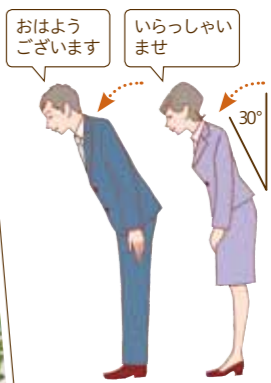
- ① チームワークをよくする（意思の統一）
 - ② やる気をおこさせる（士気の高揚）
 - ③ 基本動作の実習の場（現場教育）
- ポイント
- ① 開始時間の厳守
 - ② きびきびとした美しい言動
 - ③ 明るい声と爽やかな笑顔

朝礼委員会

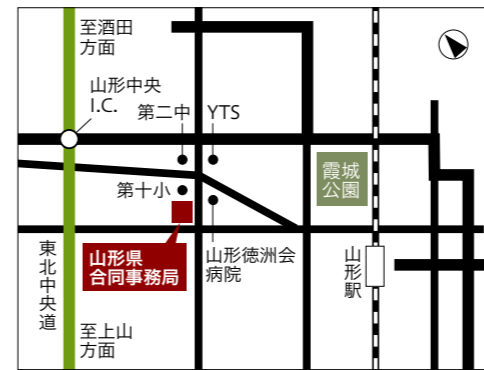
企業朝礼見学ツアーを開催しました。

他業他社がどのような朝礼を行っているのか、それを体感していただく絶好の機会。自社朝礼を更に活性化し、活力を高める有益な発見ができました。

- (株)アサヒ印刷 8月1日・29日、9月5日 8:00～約90分
- (株)アイタックル 7月21日 8:30～約20分
- (株)エスパック 8月3日 7:45～約25分
- 秋山鉄工(株) 7月22日 7:50～約20分



前盛朝礼委員長による朝礼パワーアップセミナー



発行 山形県倫理法人会
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日 平成27年8月27日



編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長
五十嵐久仁子

今年初めて富士研に参加し、様々な単会のMSで報告をさせて頂く機会がありました。営業でもサービス業でもなく右脳系技術職人の私は、元来人前で話す事が大変苦手なのですが、そんな苦手を超えたのは、沢山の県内各地の倫理友との出会いでした。「広報誌で伝えているのは、ここにいる単会の皆様の実践なのだ」と実感する機会となり、もっと広報（後方）支援ができるように力を注ぎたい！と、気持ちを新たにしました。この一年、誠にありがとうございました！

Information 広報委員会からお知らせ

倫理法人会では、以下の禁止事項があります。

ルールを守った上で、明朗なモーニングセミナーを目指します。

■ 倫理法人会活動での商行為の禁止、政治活動・他団体への勧誘禁止

倫理法人会において、一切の商取引、宗教・政治活動への勧誘、他団体への勧誘、その他PR活動は禁止されている。本来の活動の円滑な推進の妨げとなるからである。会の信頼が失墜することのないよう、役員が厳正に対応する。

■ 録音・録画・写真撮影について

録音・録画・写真撮影は、講師の承諾なしに行うことは出来ない。また、フェイスブック、ツイッター、ブログ等を始めたウェブ上への公開を目的とした写真撮影や、内容の掲載も出来ない。倫理法人会会員限定のフェイスブック掲載の場合も基本的に講師の承諾をとる。（会員以外講師は必須）

年度を振り返って

山形県倫理法人会 会長 五十嵐慶三

倫理研究所のいう「事業体験報告」とは、「純粹倫理」の実践により、事業が好転した体験の報告を指します。倫理を学んで実践し、結果が出たことの内容がポイントです。会員の皆さん、それぞれが、正しく倫理を学んでおれば、必ず好転するというようになります。事業体験とは、単なる企業経営における経験ではなく、「純粹倫理の学び」と「実践」が含まれ、それどのように企業経営に影響を及ぼしたかということが大切なのであります。そこで今年度は、「内外拡充」「上下一心」、会員さん向けの「会員資質の向上」を目指し、愚直にコツコツ、各種セミナーによる地固めを行なってまいりましたので、その経過報告を、それぞれ委員会ごと、ご報告させて頂きます。朝礼委員会では、「ブロック別朝礼パワーアップセミナー」を開催し、「活力朝礼」の意義、目的を明確に



お示し頂きました。研修委員会からは、「富士研経営者セミナー」への参加を喚起、貴重な体験をされた方々から、モーニングセミナーにてご講話頂き、次年度に向けた参加意欲を掻きたてる事が出来ました。女性委員会では、「モノの片付け」を通して自分を知る「女性倫理講演会」を開催、「時間と空間」というバランス感覚に基づいた実践方法を学ぶことが出来ました。また青年委員会では、出羽三山の自然、修験道の学びや行によって、自分自身を見つめなおす「山伏修行体験塾」を開催しました。恒例となった「ブナ文化フォーラム」は、今年度で23回目となり、グループ討議なども取り入れ、有意義な内容となりました。更には、全ての行事に参加、カメラに収め、

通年型で大活躍の広報委員会、年度当初からご苦労をお掛けしたモーニングセミナー委員会、そして普及拡大委員会に、心より感謝申し上げます。また今年度は、丸山理事長をお迎えしての「教育創生フォーラム in 山形」が開催され、家庭倫理の会、倫理法人会、各単体会役員の皆様方を中心に、多大なるご理解とご協力を賜り、「つなぎ拡がる倫理運動」の成果を残すことが出来ました。本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。次年度以降も、活動の重

点は、引き続き「人づくり」であり、組織活動基盤の強化が図られます。強固な基盤を創り上げるには、他人に強制するのではなく、自分が行えばよい、全ては「ハイ！」の一言である。そして、決めごとを、きちんと守ることが大切なのであります。残すところ、あとわずかとなった拡充計画の最終年度、万全を期して次年度がスタート出来るように、締めくくりをしっかりと行なってまいりますので、会員皆さま方のご協力を最後まで宜しくお願い申し上げます。



平成27年度 山形県倫理法人会 拡充発表会

8月12日(水) ホテルメトロポリタン山形にて拡充発表会が開催されました。五十嵐会長は、挨拶で「平成24～26年の拡充の成果発表として、モーニングセミナー、幹部研修や倫理経営講演会等年間100回以上の奉仕的なスケジュールを会長さん中心に並々ならぬご尽力を賜った。入会139件のうち85%が3月以降であったが、8単会が二桁成長の入会の数となったのは特筆すべきこと」と述べられました。今年度目標達成したのは、

山形市、米沢市、山形市蔵王、山形市中央の4単会でした。

倫理研究所普及事業部 和田毅部長のご挨拶では「本日現在、全国67,004社と2020年の75周年の節目には年間を通じて

70,000社であるような倫理法人会の体制をとっていきたい」というお話をいただきました。また、原行雄幹事長より経過報告がありました。「拡充3年間で変わってきたところがある。特にモーニングセミナーについては、マニュアルどおり進められているが、単会毎になごやか、家族的、女性の参加者が多いなど、それぞれ特徴を持って受け入れ体制がしっかりしているという印象。また、退会の件数について、過去3年と比べ、約30名ほど少ない結果となった。」

その後4単会の拡充発表があり、内容は次の通りです。

山形市倫理法人会

加藤章普及拡大委員長

会長は、年間を通じて普及に力を注いでいた。拡大



月間は週2回の普及活動し、時間をかければかけるほど成果がある

と実感した。

北村山氏倫理法人会

早坂幸起会長

MSにたくさんの方に参加してもらいたく、MSの月間案内ハガキで早めに会員の方に周知する手法を、設立から2年休まずに続けている。



米沢市倫理法人会

石井輝雄会長

女性の会員を増やす努力をし、MS参加者全体を増やすことができた。女性の参加者が増えることで、会場が明るくなり、雰囲気も大変よくなった。



庄内中央倫理法人会

富樫 幸吉会長

菅原相談役と、二人で訪問を重ね、

様々な方に入会していただいている。職場の教養を届け、数日経ってからアポをとって訪問しお話ししている。継続して活動していきたい。



最後に、鈴木隆一相談役の総評をいただきました。今日の会は「現在と未来をつなぐもの」と強い決意とすることが大切であり、また、輝く未来を設計するための機会とし、考えていただきたい点として以下5つを挙げられました。

1. 拡充とは何かもう一度考えよう
2. 倫理実践者をどうやって増やすか
3. 退会防止活動の強化を考えよう
4. 新入会員、既存会員への普及をどうするか
5. 倫理法人会の真の目的、真の使命を見失わない「会員企業の繁栄、日本社会の発展」

拡充発表会後の懇親会では、お互いの努力を労い、次年度に向けての新たな決意を確かめました。



今年も来ました! 雄大な飯豊連峰の麓、小国町 第23回 ブナ文化フォーラム開催

7月11日~12日、山形県倫理法人会主催の恒例企画、ブナ文化フォーラムが開催されました。歴史の街道散策、ブナの森をトレッキング、地域づくりのワークショップなど、参加者の方々が「今年は今までと趣向が違って有意義だった。また参加したい」と口を揃える充実の内容。企画と運営に尽力された原幹事長、ありがとうございました。



夏空広がる快晴の初日。めざみの里からバスで玉川に移動し、さっそく萱野峠を目指します。この越後米沢街道十三峠は「歴史の道百選」「日本風景街道」に登録され、かの有名な女性旅行家イザベラ・バードが歩いた国内外に認められた道。1521年、伊達14代植宗が大里峠を開いたのが始まりと言われ、長年置賜〜越後間の流通を支

越後米沢街道十三峠、萱野峠の石畳を歩く

える重要な経済の道でした。十三峠のひとつ、萱野峠は標高278m、全長3.7km行程約2時間のルートですが、今回は時間と空腹の都合上、一部だけ歩きました。雑木林の中、なだらかな勾配を登って行くと、古い敷石が現れます。地元のNPO法人の方々によって丁寧に掘り出された敷石の上を歩くと、米や煙草、塩や肴などを積んだ馬が行き来したであろう当時の空気を感じ取ることができました。



マタギの里で、山の味、川の味堪能



飯豊連峰とその下に広がる田園地帯をみていると、たまらなくお腹が空いてくる。飯豊と書いて、豊かな飯!というだけで、街道散策の後は待ちに待ったお昼の時間。川入荘、越後屋マタギの館、3箇所に分かれて食事をしました。手打ち蕎麦、岩魚、山菜。美味しい水が育てた、雑味の無い自然の味は、体に新しい力を与えてくれます。

右脳の活性が止まらない! 地域づくりワークショップ

初日午後はブナ文化フォーラムのメイン企画、地域の方々と交流しながらの討論会。今回は、山形県農林水産部農政企画課 高橋信博氏をお招きして、「超現実的に地域創生を考える講」というテーマで講演とワークショップが行われました。高橋氏は県内唯一の「地域づくり専門員」として県内外1,000件以上の事例と向き合い地域づくりを展開されています。「官」による地域づくりではなく、地域が主

体となって課題と向き合い解決に向けて話し合いを重ねる事を推奨し実践する氏のワークショップを、実際に体験する事となりました。前半、これまでに氏が手がけた様々な事例を講演頂き、活力ある地域組織はどのように形成するのか、地域に眠っている「宝」をどうやって見つけ出すか等の興味深いお話を聞く事ができました。後半のワークショップは4グループに分かれるのですが、「一言も話さず、ジェスチャーだけで誕生日順に並ぶ」というアイコンタクトのコミュニケーションから始まるなど、グループ形成方法も大変ユニークでした。

ワークショップのテーマは「過疎集落の再生を考える」という事で、会場となった小玉川地区を題材に課題を共有し、7人程度のグループ毎に課題解決策を出しあいます。ポストイットを使って「自分たちでできる事/企業と組んでできる事/官と組んでできる事」に分け、さらに「すぐできる事/2〜4ヶ月くらいでできる事/長期的にできること」に仕分けします。最後に各グループによる解決策プレゼンテーションを行い、空想あり妄想ありのお互

樽口峠で贅沢ロケーションのモーニングセミナー



いのアイデアを讀え合いました。



2日目は早朝4時半に集合してバス移動で駐車場に降り立つと…



宿泊は国民宿舎梅花皮荘。山菜料理と音楽溢れる楽しい夕べ。



今年も会えました！この絶景！手前に見える倉手山と、その奥には所々残雪を纏った飯豊連峰が屏風のように広がります。贅沢すぎるロケーションの中、那須女性委員長進行によるモーニングセミナーを行いました。講話は昨日に引き続き、高橋氏。地域づくりの事例として、作谷沢の発展と外部支援の整理についてのお話を伺いました。地域づくり支援を始める時に大切なのは、それまでの歴史や経緯をとことん調べ、まずは理解することだと氏は言います。配布いただいた資料は大変具体的で分かりやすく整理され、地域づくりのみならず企業などの組織づくりや課題解決にとっても参考になるものでした。



ワラビ園とブナ林を爽快トレッキング

ワラビ園の中に新しく作られたルートからスタートし、早朝トレッキングが始まりました。緩やかに下りながら眼前の飯豊連峰がどんどん迫ってくる様子は、まるで日本アルプスに居るかのよう錯覚するほど素晴らしい光景です。



やがてルートは木漏れ日が揺れるブナ林の中に吸い込まれ、つい先日まで雪の下に埋まっていたフカフカの落ち葉の道に変わりました。結構な傾斜を下り切ると、休憩ポイントの窪地。この一帯のブナは面白い形状が多く、雪の重みに耐えながら陽の光を求めて成長した跡が伺えて愛着が湧きます。中には、熊が登ろうとした生々しい爪痕が残っていたり…！随分と下って来たということ、その分登りが待っているという事。口々に「今朝は軽めの散策のはずでは？」と(苦情を)言いながら、汗をかきかき登って行きます。途中の湿地では、美しい苔が見られるポイントなどもあり、約一時間のルートで様々な表情を楽しめました。

バス移動復路の恒例「反省会」。ひとりひとりがマイクを持ち、今回の感想と改善点、解決策提案などの意見を交換しました。初日のワークショップ効果は帰りのバス車中で続き、「次年度は更に有意義なブナ文化フォーラムにしたいね」と倫理法人会らしいポジティブな言葉で締めくくりました。



織姫と彦星が逢う7月7日、七夕に開催！

平成27年度山形県倫理法人会山伏修行体験塾開催日の7月7日。その日は、我が国待望の新型気象衛星ひまわり8号の運用が始まる日であり、年に一度、織姫と彦星が逢引する七夕の日でもあり、そして、なんと山形県倫理法人会新旧役員引継ぎの日でもありました。

『冬の富士研、夏の山伏』と倫理法人会倫友なれば、全国の誰もが知る研修の場に育てようとの志のもと青年委員会の主事業として始まった山伏修行体験塾ですから、全国の前に先ずは東北方面、その前に、膝元である山形県倫理法人会の役員、単会会長、単会役員の皆様に奮って御参加頂こうと考えておりました。が、しかし、当然と言えば、当然のことながら、県役員・単会会長の皆様が軒並み不参加の中、少数精鋭12名の参加者で今回の第四回山伏修行体験塾は始まることになります。羽黒派古修験道と呼ばれる羽黒



山伏の修行とは十界の行(地獄界・餓鬼界・畜生界・修羅界・人界・天界／六道 声聞界・縁覚界・菩薩界・仏界／四聖(悟界)であり、人の生まれ変わり(輪廻転生)を現世にて果たそうとするものとされてい

ます。本来の修行は「四季の峰」と言われる年4回の峰入り修行で、その内容は「聞かず語らず」、参加者のみが知るものとされていますが、我々、青年委員会で実施する山伏修行体験塾は、本来は長く厳しい山伏修行を一泊二日の日程に凝縮して参加者

霊峰出羽三山の中で 己と向き合う

の皆さんに体験して頂き、霊峰出羽三山の中で己と向き合い、今後の倫理経営実践の決意を新たに頂く為に行っているものです。

もっと、端的に言えば、昨日まで



の自分を振り返り、現在の自分の姿を見つめ、将来のあるべき姿を見定めたならば、過去の穢れを払って浄化し、生まれ変わる修行体験です。もちろん、本来の山伏修行は終わりのないものでありますし、日程的に

山伏修行の原則に則り 「聞かず語らず」

も全ての修行をすることは難しいのですが、純粹倫理実践の決意を固める一機会として捉えていただければと考えています。

さて、前置きが長くなりましたが、今回の山伏修行体験塾は好天に恵まれて始まりました。本来の山伏修行の「聞かず語らず」原則に則り、事前の案内チラシに修行内容の



詳細を掲載しないこともあって、毎年、参加者の方々は少し心配そうに集合されます。今年も同様でしたが、白装束(死に装束)に着替え、入塾式を始めることから、参加者の顔が引き締まり始めます。



この山伏修行体験塾は、実に良く考えられた内容の行で構成されており、ご高齢の方からご婦人まで

過去の穢れを払い、 生まれ変わる修行体験



誰もが体力的に完遂が出来る内容ながら、先達山伏ですら、ひとつやふたつの「苦手」な内容の行が含まれています。山で健脚を誇る人に里で苦手な行があり、里で涼しげな人に山で辛い行があり、それらがバランスよく行程中に含まれていて、行を行なうごとに参加者の顔が引き締まった良い顔になっていくのが分かります。

なお、今回は第四回目にして、初めて全ての修行で脱落者(リタイヤ)を出さずに全員揃っての修行体験完遂となりました。この時期には、むしろ天候が荒れていることの方が多い月山も好天に恵まれたことも



参加者の日頃の行いの賜物だと思えます。

そして、山伏修行体験塾の締めくくりとなる、出生式(生まれ変わりの儀)。最後に塾長より名前を呼ばれ、山伏言葉「請けたもう」と大きな声で返事をして、山伏体験塾修了証を受け取った参加者の皆さん、揃って晴れ晴れとした顔になります。

最後に、私事ながら第一回・二回と参加し、昨年と今年は里で待機していた私も来年の第五回は、修行を3回終えた者に与えられる三度位拝受を期して、参加いたします。過去に参加経験のある方も、初めてとなる方も来年の奮っての御参加をお待ちしております。

(青年委員会副委員長 佐藤正廣)



えがおのげんば



■ えがおの人
山形県倫理法人会副会長
酒田市倫理法人会相談役
安藤 政則 氏
昭和27年 庄内町生まれ
血液型 AB 型



■ えがおの現場
株式会社 安藤組

[代表取締役] 安藤 政則
[創業] 昭和21年
[所在地] 本社・管理部/
東田川郡庄内町提興屋中島 80
[事業内容] 安藤組グループ
(株) 安藤組 / 生コンクリート製造、
建設資材としての骨材製造、産業廃
棄物中間処理 他
(有) 安藤運輸 / 一般貨物運送 他
菅睦建設(株) / 土木工事、建築工事、
大工工事、とび・土工工事、石工事
他建設に伴う各種工事
安藤整備工業(株) / 一般車両の整備、
車検、板金塗装、車両販売、自動車
保険

安藤組グループをまとめる傍ら、倫理法人会に関わりながら多忙な日を送られている安藤副会長の優しい笑顔に迎えられた取材当日。案内してくださった安藤将士取締役はじめ、社員の方の清々しい接待が印象的でした。朝礼は隣り合わせの人と向かい合い、服装チェックからスタート。その後、『職場の教養』を使つての挨拶実習、「ハイ」の実践、輪読を社員全員が元氣に行っていました。「男の業界」に倫理の考えをどう実践されているのか、安藤副会長の話の中から様々なヒントが見えてきます。

朝礼を続けていくうちに社員に変化が

以前、本部から講師がいらして活力朝礼のセミナーがありました。その講習を受けたことで、朝礼を社内に取り入れ会社全体を元氣にしようと思つたんです。職業柄、寡黙で

対人関係が苦手な社員が少なくないのですが、朝礼を続けるうちに少しずつ様子が変わっていききました。以前なら「話をして！」と振つても「いや〜」と躊躇していた社員たちが、自分の言葉で伝えようと意識するようになってきたんです。朝礼が軌道に乗るまでは3年くらいかっ



たかな。今では元氣な挨拶や返事が社内に響くようになり、社員たちの様子が明るくなってきたことを実感しています。お客様とコミュニケーションを図るうえでも役立っていますね。

倫理との出会いは

酒田市倫理法人会が発足したのは平成16年。その年に酒田米菓の佐藤茂さんに誘っていただきました。

佐藤さんから誘われたら嫌と言えないじゃないですか(笑)。発足当時は10人足らずで、私も最初はほとんど顔を出していなかったのですが、その年の冬に佐藤さんから「最近お天気が悪くて大変だから人の集まりが悪いんです」と電話をいただいて。そのことがきっかけで、参加するようになりました。とは言つても、始めは早起きが大変で「週一でも朝来るのは大変ですね」と佐藤さんに言うと「モーニングセミナーの時だ

け早起きしようとせず、毎日早く起きればいいんですよ」と教えられ、「なるほど！」と納得してね(笑)。

経営は素直になることから

常に倫理を意識して経営しているわけではありませんが、私自身「素直になる」ということを心がけています。人と関わる時に自分の気持ちを素直に伝えれば、相手の思いもダイレクトに感じ取ることが出来ますよね。それは初対面の相手であっても同じです。商売以前に、人と人のコミュニケーションが大変なことだと思います。このことは社員との関係性においても言えること。経営者として、日頃から社員一人ひとりに目を向けていきたいと考えています。例えば、車両を大切にしながら長年運送を担当してくれている社員には、サプライズで新しいトラックを担当してもらうことにしたり。その時の社員の涙を見ると、私のほうが感動をもらいますね。



職場の教養や砂利のサンプルが置いてあり、コミュニケーションも楽しい受付窓口。

判断の基準は、損得か必要性か

経営していて、苦しいことは度々ありますが苦労だと感じたことはありません。苦しいと感じるのは物事を決めなくてはならない時。私が決断する際に基準としているのは「損得でやる」か「世の中に必要だからやる」のか。「世の中に必要だと思ふものを最優先する」と、成功された方々からお聞きすることがよくあります。損得よりも「必要だ」という考えで判断した時のほうが正しいということでしょう。でも、商売をしている以上「損得」を考えなければならぬことって多いですね。そうした場合、時にはうまくい



安藤氏の ある一日



健康の秘訣は、いつも「うまい、うまい!」と声に出して美味しく飲んで食べること。

4:00 起床

6:30 モーニングセミナー

休日やMSの無い日は起床後、録画していたビデオをまとめて鑑賞!好きな番組は、NHK「知恵の泉」「私の履歴書」、BSジャパン「日経プラス10」だとか。趣味の魚釣りも、最近は仕事オンリーでご無沙汰だそうです。

7:00 出社

7:30 始業・朝礼

仕事

12:00 昼食

仕事

18:30 帰宅

21:00 就寝 zzzz...



大切にしている企業を目指していきたいと常々考えてきました。産業廃棄物の処理や建設廃棄物をリサイクルして再資源化するということも、農業を考えていくことも、また、近年力を注いでいる風力発電事業も、そうした共通の思いからです。



通学路を全員で掃除

当社では14年前から、田植え前の時期になると近くの小学校まで(約2km)の道路を掃除しています。もともと、私はゴミ袋片手に自宅から会社まで歩いて通勤していたんですが、子ども達が登校する道に吸い殻



通学路にあたる県道 2.5kmを約100人で清掃。山形新聞に掲載されました。



思えるようになってきましたね。

や空き缶、ペットボトルが落ちていたのは教育上良くないと思い、安藤組として行うことにしました。私自身、最初の頃は「なんでこんなゴミが落ちてるんだ?」とブツブツ言いながら拾っていましたが、ある時気づいたんです、「ゴミ拾ってだから頼まれていない」と。やってあげている「という傲慢な気持ちがあるから怒ってしまうわけです。最近では「嫌なら拾わなければいい」と



右は社長のご息で取締役の安藤将士氏。2年前に地元に戻り家業を手伝う決意をしたとの事。

は大変だけど二代目には二代目の苦しみがある」と。二代目は創業した部分を守りながら、自分もさらに頑張らなくてはいけないというのが一般的に考えることですよ。でも、私は、創業者は「初代創業者」

で、二代目は「二代目創業者」、三代目は「三代目創業者」だと考えています。先代と同じことをしなければならぬということではなく、その代としての使命があると思っています。だからこそ、その代の創業者と



してスタートがきれないようにバトンを渡していかなければならないわけです。先代の実績や経験、蓄積されたデータ等をベースに、自分の発想を取り入れて受け継いでいく形が理想かもしれませんね。私もいずれ三代目に渡す時がくるわけですが、どう土台作りをしてバトンタッチしていくかを最近考えるようになりました。自分のことを考えると、創業者である父の背中を見ながら中学生の時には跡を継ぐことを決めていたと思います。父と私がそうであったように、価値観や人間性を含め、次の代とどう信頼関係をつくっていくかもポイントになってきますね。

自然を相手にする仕事 だからこそその使命

5年前、庄内産の作物を栽培生産し、食の安心・安全に配慮した循環型農業を考えていく「アグリ事業部」を設立しました。当社の事業は「自然」と切っても切れない関係にあります。国土建設の仕事をしながらも、我々が動くことによって地球環境を守ることができるよう、自然と命を

山形県倫理法人会への期待

全国的に見て、山形県は人口当たりで考えると普及率がいちばん高いんです。特に山形市は人口25万人の市で会員が500社ですから誇れることですね。倫理法人会が根付く土壌と山形の文化はマッチングしているのかもしれない。五十嵐会長も歴史ある山形の文化を新しい切り口で考えていく勉強会等を企画されています。中でも、「米沢の上杉鷹山に学ぶ」は、今後、山形県倫理法人会のシリーズにしたほうがいいのではと思うほど興味深い内容ですよ。

女性が原動力

酒田市倫理法人会は目標を高く持ちながら、さらに元気な法人会を目指して頑張っています。庄内は女性が元気!これからは女性が原動力になって引張っていかけてくれることと期待しています。

14単会 PICK UP 通信

各単会、人気講師の
モーニングセミナー始め
パワーアップした催しが充実する夏。
輝く朝日と倫友の笑顔に集い
活力ある1日をスタートしましょう!

各単会ではいつでも
皆様を温かく
お迎えます!

酒田市倫理法人会 庄内最上
ブロック
庄内中央倫理法人会
鶴岡市倫理法人会
新庄最上倫理法人会
村山B
ブロック
北村山倫理法人会
寒河江市倫理法人会 天童市倫理法人会
村山A
ブロック
山形市倫理法人会
山形市中央倫理法人会
山形市蔵王倫理法人会
長井市倫理法人会 上市市倫理法人会
南陽市倫理法人会 置賜
ブロック
米沢市倫理法人会

山形市倫理法人会



●7月のイベント報告 ビアパーティー・三つのお祝い

7月31日、毎年恒例のビアパーティーを亀松閣にて開催しました。佐藤啓事務長司会進行のもと、小松幸弘会長挨拶、中村恒一相談役の乾杯で祝宴へと進みました。祝宴では、佐藤敬一専任幹事からビアパーティーを早めた理由の説明がありました。拡充185社達成記念と、小松会長の7月30日の〇〇歳の誕生日のお祝い、そして、小松幸弘会長の3年間のご苦勞様と、小松丸の残り1ヵ月間みんな頑張ってくださいしようとのことでした。更に、参加者一人一人か

らも小松会長への想いと、自身の決意表明などがあり、宴会は最高潮を迎えました。参加人数は23名とちょっと少なめでしたが、メンバー同士たいへん楽しいひと時を共感できたのではないのでしょうか。今回、都合により参加できなかったメンバーにおかれましては、是非来年参加していただきたいと思えます。小松幸弘会長、3年間本当にお疲れ様でございます。(広報委員長 金子明)

長井市倫理法人会

(普及拡大副委員長 遠藤孝二)



の事を感じております。

私は長井市倫理法人会に入会し早くも8年を迎えます。何となく良い事がわかっていたのですが程々に成果が少しずつ上昇していた様に思っておりました。その事が事業に対して顕著に表れたのは、私が倫理法人会に入会をして3年後、作業中屋根より落下し、車イス生活となってから、更に1年後急に売上が2倍となりました。第二条の得るは捨つるにあり「捨我得全」の中の一節を体感しました。「こうした一生に二度と出会うことのない大窮地に陥った時こそ、度胸の見せどころである。一切をなげうって、捨ててしまおう。地位も名誉も、生命も、この時どういふ結果が生まれるであろうか。まことに思いもよらぬ好結果が、突如として現れる。いわゆる奇蹟というものは、こうした瞬間に起こる。常識をはるかに超えた現象である。」その事を感じて

●気づきの報告 倫理を学んで 思う事

これから女性委員会は明るく元気に活動してまいりますので、引き続きのご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。(女性委員長 那須喜美子)

平成27年度 女性倫理講演会 「人生が変わる「断捨離」セミナー」

去る6月28日(日)、平成27年度女性倫理講演会を山形国際ホテルにて開催致しました。講師は東京日本橋断捨離トレーナー 麻野ゆかり氏「人生が変わる「断捨離」セミナー」というテーマでご講演頂きました。目標の200名超えの沢山の方にご来場頂き、盛会に終わる事が出来ました事、心より感謝申し上げます。講演会にあたり、ご挨拶を頂きました五十嵐県会長を



はじめ企画運営に尽力下さいました女性委員会の皆様、各単会の皆様、誠に有難う御座いました。毎年どなたに講師をお願いするか、女性委員会の大きなテーマですが、この度は男女問わず注目度の高い、今話題の「断捨離」がいいのでは...ということになりこの企画となりました。

各単会へのご案内の他、山形新聞に広告掲載しました所、一般の方からの問い合わせが事務局に入るなど思わぬ反響があり、当日券18枚という嬉しい出来事もありました。

講師の麻野ゆかり先生は、「片づけられない」ことに悩み、自分を責める日々が続く中「断捨離」に出会い、実践者となられた方です。モノの片づけを通して自分を知り、苦悩の日々から劇的に快方に向かい、ひとつ一つのモノと向き合うこ

とで、モノと一緒に背負っていたしがらみを手放すことが出来、自分ごきげんになり家族が笑顔になったという経験を持っておられるの経験と自宅訪問セッションする中からの学びや気付きをもとに、パネルを使つての具体的なビデオアフターと、それにより起きた偶然とも言えない出来事やリアルな改善は驚きばかりでした。

まず初めに整理すべきなのは、財布の中の不要なレシート、要らない物をもらわない「断」、過剰に溜め込まない「捨」、の繰り返しにより、ゆとりある自由な空間への「離」。自己肯定感が生まれ、ココロもカラダも軽くなるということをお聞きし、セミナー終了後は、「すぐ片付けをしたくなつた」「即生活に生かしたい」などの声が沢山聞かれ、倫理の学びの「物の整理は心の整理」「気づいたらすぐする」を、



講演会のご挨拶を務める那須女性委員長

講演会の準備は念入りに。反省会は美味しく楽しく女性委員会の良いところ！

ピザリアでイタリアン♪

寒河江市倫理法人会

●5月のイベント報告
倫理経営講演会開催

寒河江市倫理法人会平成27年度倫理経営講演会が去る5月21日(木)グランテール寒河江に於いて167名(昨年より微増)の来場者を迎え開催されました。

テーマを「ここに活路あり」と銘打ち、講師に中国・四国方面副方面長 田島康賢氏を迎え、有志企業社員による活力朝礼実演との二本立ての開催です。



心を

朝礼実演は短期間の練習にもかかわらず、指導して下さった諸氏の期待に見事に応え、元氣いっぱい息もピッタリの素晴らしい実演を披露してくれ、出演してくれた社員さん達には、貴重な経験になったものと思います。

味深い講話を頂き、最後に「活路は足下にある」という言葉で締めくくられました。

来場者を増やすという永遠の課題が残ったものの、ユニークで実の詰まった素晴らしい講演会だったと思います。(広報委員長 中西和則)



上山市倫理法人会

●気づきの報告
「気づき」と「出会い」を大切に

上山市倫理法人会に参加させて頂いて5年程になります。最初は、会社の経営方針に「倫理経営に徹する」という方針があるので積極的にというよりは、強制的にという感じでした。

(木曜日の夜から金曜日の朝にかけて億劫な日も...)しかし、参加しているうちに会場の凛とした空気の中で、現役社長の事業体験や生い立ち、会社経営で大切



切にしていること・会社で実践していることなど、私にとってはとても興味深い話の連続で、実際に会社を営んでいる人の言葉は説得力・迫力がありました。

私、自身に置き換えた場合、会社の朝礼で「職場の教養」を使用していますが、リーダーの「ハイッ!」の後に「一番最初に輪読するくらいです...」

これからの倫理を学んでいく中で、「気づき」と「出会い」を大切に小さいことからコツコツと出来る範囲で実践していこうと思

晋道勇一
(青年委員長)



●気づきの報告
突然!一般の社員から経営者へ

青天の霹靂。

本当に思いもかけないことでした。そのときは役職を「受ける」とか「受けない」なんて考える余裕も知識も無く「ただ受ける」。そして「会社存続」をさせることだけを思っ

て行動していました。人生で初の「無我夢中」を実践した数日間でした。(正確には1ヶ月くらいの期間はあった)

そして、経営の立場に立つてからしばらくしてある会社の社長さんから「倫理、知っていますか?」と聞かれて...全く知らなかったたので、「知りません」と即答。社長さんから「それじゃ一度見に来てよ」の言葉に引かれるようにして見学へ。

それまでの私だったら「いや、結構です」と言うのですが、その時は「はい、行きます」と言っていたのです。今更ながら不思議です。まあ、朝の活動ですから私としては時間が空いていて断る理由が無かっただけですが...

モーニングセミナーを見学に行ったら驚きでした。(宗教活動?やバイ!)しかし、モーニングセミナーが終わるころには心がスッキリして気持ちよく感じしていました。「正しいことを言っている」「大人の道徳」と思いました。



介していただいた社長さんに入会の気持ちを伝えて「入会」することになりました。

あれから3年半。現在ではモーニングセミナー委員長の役職を任せていただいております。微力ながら酒田市倫理法人会のモーニングセミナーがスムーズに行えるよう努力します。

さて、会社経営を受け継いだ当時は日々の経営だけでも大変だったのですが、現在ではどうか周りを見る余裕ができるくらいに経営ができる状況になりました。入会当時より倫理で学んだ中からいくつか実践しています。心が穏やかになったり、強い信念になったり、心持ちが変わったりなど、様々な面で役立っております。また、倫理活動を通じていろんな方とお会いできている「縁」を感じ、今後大切にしていきたいと思っております。

最後に、これからも倫理(特にモーニングセミナー)を人生の修行の場と考え、週に一度ですが自分を見つめ直し、自分に喝をいれる場として参加し続けようと思っております。

(モーニングセミナー委員長 土岐たつ夫)

●モーニングセミナー報告
第555回
特別モーニングセミナー

5月30日から7月4日まで、山形市蔵王のモーニングセミナー強化月間でした。その中でも6月6日は第555回の特別モーニングセミナーでした。一口に555回と言っても10年以上の歳月の積み上げで到達した回数です。10年の間には、少しずつモーニングセミナーの参加者も増え、そして会場も当初の会場から2倍の大きさに拡張



され、現在では朝日の燦々と降り注ぐ中で山並みを遠くに見ながら開催されています。記念すべき特別モーニングセミナーの講師は株式会社シベール顧問の熊谷真一氏。テーマは「普及は宝、動きは最高の喜び」。記念すべきモーニングセミナーに相応しい、山形県の倫理法人会のこれまでの歩みに触れるような講話でした。静かな語り口の中にも、今日の会の骨格を作り上げた方の実体験による、心に染み入るようなお話でした。改めて、現在の恵まれた環境の中で倫理活動が行えることに感謝の念を持つことができました。

(広報委員長 渡辺英一郎)



酒田市倫理法人会

天童市倫理法人会

●気づきの報告

麻野氏は言う「あなたはとりあえず“の人生でいいんですか？”と。」

6月28日、女性員会主催の麻野ゆかり氏の「人生が変わる」断捨離「セミナー」を拝聴した。
講演を聞いているそばから、すぐ家に帰り、掃除をしたくなったのは、私ひとりだけではなかったようだ。(笑)麻野氏のおしつけではない、ふんわりとした話方も印象的で、ひとつ々の例がとても納得のいく内容だった。



なんと！翌日には、麻野氏に断捨離自宅訪問にきていただいた。麻野氏はひとつひとつ丁寧に「ねえなぜこれをとっていたの？」と聞いてくる。じゃ、とばかりに私が「捨てます」というと、すぐ捨ててはダメだと言つ。「捨てるのが目的ではない」「モノとちゃんと向き合うこと。つまりは、自分と向き合うこと。それらは人間関係や人生にも関わってくる。」

断捨離は捨てるに非ず、自分と向き合うことにある。
また、そうすることによってリパウンドも少ない。「あると便利よね」とこれを『おせっかいおばさん』という自分が買ったものじゃない。これを

『知らないおじさん』という。その彼女のマジックのような「言葉」に、自ら考える力が出てきて、その後モノにちゃんと「さよなら」をし、一気に軽トラ一台分の粗大ごみをだした。

モノをあまりおかない場所を作ると、そこは「聖域」のようになり、モノにじゃまされないの、すぐに拭いたり磨きたくなってくるそうしているうちにとても心地のいいものを感じ、そして、そういう場所を作れば作るほど、取捨選択がはやくなっているのを感じる。そして、それらは、純粋倫理と通ずるものがある。

麻野氏の断捨離にすっかり嵌った私は、いつも「ごきげんな」人生を送るために、私の断捨離はまだまだ続く(笑) (広報委員長 今田由美子)

鶴岡市倫理法人会

●8月のイベント報告

炎の講演家 鴨頭嘉人氏の「仕事の価値は自分でつける！」開催！

8月5日6日と鶴岡市倫理法人会では、(株)東京力モガシラランド代表鴨頭嘉人さんをお呼びし、特別講演会を開催しました。

約8か月前、私が東京で鴨頭さんの講演を聞いて、是非鶴岡市にお呼びして、鶴岡を、ひいては山形県を盛り上げたいと練馬区倫理法人会の100名の前で宣言した事に始まります。その後、栗本会長へ企画書を持って行きました。当時鶴岡市では認知度が低かったのと日程調整が合わず、一時はとん挫しかけたが、4月に寒河江市倫理法人会で、鴨頭さんをお呼びした事がきっかけで、事態は好転し今回大盛況に開催することが出来ました。

当日は300名を超す方々がお越しください、会場は笑顔と熱気に包まれました。私は司会を仰せつかり、緊張と胃の痛みに悩まされていました。そこへ鴨頭さんから「倫理は成功や失敗ではないよ。思いつ切りやっつてごらん」と背中を押して貰いながら、司会を楽しみました。講演会の後半に



たった1分のグループディスカッションがありました。会場全体が良い気の流れに変わり、笑顔に包まれ、鴨頭さんとアイコンタクトしながらこちらも笑顔になりました。
懇親会の席で、モーニングセミナー等の講師に左右されない単会作りが課題と話が上がりました。それには、役員さんの意識と元気良い挨拶と笑顔のお出迎え等が必要が必要不可欠です。今私が仰せつかった役職を通して自分という素晴らしい存在を使い切って生きて行きます。
今回の運営にご協力頂いた方々のご協力のおかげで開催することが出来ました。ありがとうございます。(広報委員長 田中正之)

米沢市倫理法人会

●気づきの報告

朝礼。パワーアップセミナーに参加して

6月18日に南陽市熊野大社誠殿で行われた置賜ブロック朝礼パワーアップセミナーに参加しました。自分は遅れての参加でしたが、全員で30名ほどの参加者がありました。

前盛朝礼委員長の指導の下、前半は講義をお聞きし後半からグループに分かれての活力朝礼実習を体験しました。自社でも活力朝礼は行っていますが、今回の研修で学んだ活力朝礼はとてもメリハリがあり、自分から積極的に朝礼に参加しようという気持ちがあふれてくるような内容でした。



今まで会社で朝礼を行っていない企業や、朝礼をもっと活気あるものにしたと考えている方は、倫理法人会が推奨している活力朝礼を取り入れてみてはいかがでしょうか？一日のスタートとして活力朝礼を行う事で、会社の雰囲気やその日1日の仕事に対する集中力などが向上して来ると思いますが、企業にとってもメリットはとて大きいと思います。
研修に参加させていただきありがとうございました。(広報委員長 青野直城)

北村山倫理法人会

●モーニングセミナー報告

100回記念 モーニングセミナー

北村山倫理法人会も、県役員様はじめ他単会の皆様の御協力を賜り、おかげさまで100回目のモーニングセミナーを迎えることが出来ました。皆様に心から感謝申し上げます。

当日は多数の出席をいただき、講師として近清剛相談役にお話しいただきました。会社は「聖堂」であるとともに、倫理では会場が聖堂、家庭では家が聖堂である。社員が誇りと喜びを持って働くことが出来るように「漬物資格士1級・2級・3級」という資格をつくるなど、会社のことのみならず、広範囲にわたりよく考えていらつしやるなど感じました。子供は



生まれながらにして「自覚」「良心」「想像力」「実行力」「意志力」を持っている。私たちも実行し子供たちに見せて教えていかなければならないとお聞きしました。
北村山倫理法人会は設立より2年たちます。家も建てた際はキレイですが、2年もすると住む人の雰囲気でも暗くも明るくもなります。家庭も倫理も道徳性と倫理性をもって作っていくものだとお聞きし、明朝一番を指す北村山にはいい教訓を頂きました。



今後200回・300回と北村山倫理法人会はもとより、会員企業ともども継続・発展して参りますよう日頃より、精進してまいります。 (副専任幹事 菅原雄一)

庄内中央倫理法人会

●2〜4月のイベント報告
倫理経営講演会 満員御礼!

4月20日(月)三川町いりり火の里なの花ホールにて平成27年度「倫理経営講演会」が行われました。当日は、雨降りのあいにくの天気でしたが、大勢のお客様により、ご来場頂いた皆様には心より感謝申し上げます。



昨年は会員企業のすばらしい朝礼実演が行われましたが今年度は、事業体験報告を青森県倫理法人会 相談役で大泉開発株式会社 坂本和記代表取締役会長に「恩意識と、後始末」のテーマでお話頂きました。倫理経営の実践を考え、精一杯生きてきたことで良い結果が生まれて継続している、ピンチは強い心で終始一貫やりぬく、チャンスは気づきと即行で対応することが必要、最後に謝恩と後始末のお話を経験の実例を示して解りやすくお話しして頂きました。



講演は一般社団法人倫理研究所 西浩参与に「ここに活路あり」大転換期をいかに乗りきるか」をテーマにお話頂きました。変化の激しい時代において、何を考え行動するか、実例を示し解りやすくお話し頂きました。現場を中心とした三現主義、幸福と逆流の波動があり宿命を受け入れ、出会いやチャンス、行動で運命を変えていく。商道は利益を上げる道でなく、必要とされるものを提供する基本を揺るがせず、商いの道で新しい世界を開く事



など、多数の気づきを頂くことが出来、大変有意義な時間だったと思います。当日は他単会からもたくさんの方参加をいただき誠に有難うございました。
(広報委員長 秋葉正二)

南陽市倫理法人会

●気づきの報告
誘い合って
セミナー参加を

「モーニングセミナー」と言っても、どうしても名称からして堅苦しい」「前夜の付き合いでの疲れでなかなか起きられない」「まだ1回も参加したことがないから、どんな方がいるのか判らず実行できなくて」「参加しなくても『職場の教養』がキチンキチンと届くし、それだけで充分だ」などと考えておられる会員さんがスリーピング会員になられているのでは? と思います。

とにかく、スリーピング会員の方に、近くの方(紹介者)が、一声掛けられているか確認していない当方も悪いのだが…。何とか、この問題を打破しよう、アンケート作戦に猛暑の中苦悩するのにも疲れてきている昨今であるが、週一モーニングセミナーにスリーピング会員さんも含め声掛けながら出ています。

やはり、入会してもらってからのアフターケアが絶対的条件ですね!!
(専任幹事 青木勲)



●5月のイベント報告
倫理経営講演会を開催しました

今年度の倫理経営講演会は5月25日、会場ザ・リヴィントンで開催されました。

講師に花野井勝浩法人スーパードバイザー、事業体験報告に黒澤真次倫理経営上級インストラクターを迎え「ここに活路あり」というテーマで講演がありました。



門家集団への挑戦が始まり、倫理と出会うことにより倫理経営がプラスのスパイラルを引き起こし、企業発展を続けていることを知りました。

花野井氏の講演では、倫理に反する行動によって起こる命に係る苦の出来事、そして倫理に目覚めて行動することによって起こる福の出来事を臨場感たっぷりに熱弁いただきました。参加された方々の感想では、倫理と実践が大変解りやすく、是非来年も黒澤氏の講演を聞きたいとの感想がよせられました。

これからも、倫理経営講演会により倫理との出会いの場を提供できたいと思います。
(専任幹事 中鉢義邦)



●モーニングセミナー報告
200回記念モーニングセミナー

7月23日木曜日6時半より「200回記念モーニングセミナー」を開催いたしました。「継続者として経営者として」と題しまして株式会社あじまんの代表取締役佐藤友紀氏によりご講演頂きました。昨晩から天候が悪く、大変足元の悪い中、早朝より96名の参加者にご参加頂きました。



今回の特別モーニングセミナーは、山形市中央倫理法人会設立より200回目という節目もあり、普及拡充に重点を置いて、単会会員を中心にご案内をいたしました。今回はじめて実行委員長を務めた齋藤雅樹青年委員長

は、今年3月末から単会幹事の協力を仰ぎながら、徐々に準備を初め、山形

市を中心とした近隣単会への案内を積極的に行って頂きました。

その甲斐もあって、多数の参加者にも恵まれ、200回目を記念するモーニングセミナーの成功へと導いてくれました。また、齋藤青年委員長は、自単会のモーニングセミナーには、皆出席しており、今後、ますます活躍に期待が持たれます。

(広報委員長 丸子芳史)



新庄最上倫理法人会



工藤直彦氏 プロフィール

東京都豊島区倫理法人会専任幹事
前東京都幹事長、倫理経営インストラクター
アーティストックコミュニティ代表
昭和39年生まれ。岡山県出身。東京証券(株)(現 東海東京証券)にてリアル営業、企業部(株式公開業務)、事業法人部(上場企業の資金調達、資金運用)を経て、生・損保、年金商品販売、投資アドバイザー、講演、コンサルティング業務、ミュージシャン派遣事業、コンサート企画運営、音響・映像機材レンタル事業、海外での植林事業を行っている。

怒濤の4連発

超常識を愉しむ。

純粹倫理 「その知られざる領域」 まるわかりセミナーを 開催しました

講師 工藤直彦氏

■ 庄内ブロック主幹特別イブニングセミナー
「決心の仕組み」

7月2日 18:30 ~ 庄内町やくけっちゃんーの

■ 庄内中央倫理法人会モーニングセミナー
「純粹倫理的コミュニケーション」

7月3日 6:30 ~ 庄内町商工ふれあい会館

■ 山形県主幹特別イブニングセミナー
「なぜ普及が大切か」

7月3日 18:00 ~ プルーン

■ 山形市蔵王倫理法人会
特別モーニングセミナー
「実践から体験へ」

7月4日 6:30 ~
山形グランドホテル



東京都はそれぞれその個人の会立ち上げから長い歴史と倫理文化があり、年月を経て受け継がれてきた倫理講話の型があります。これは葉に書かれてある普及の方法(16P後ろから2、4行目の文章)とピッタリと一致しています。

これに対して山形県は独特な発展を遂げてきたため、東京都に見られる『純粹倫理実践内容の共有』という伝統的な講話スタイルについて、先達から受け継がれてきたものや講話指導の機会も無いまま現在に至っており、本来あるべき正しい講話と乖離しているように思います。

また、モーニングセミナーは知識を教わる場、実践のヒントを学ぶ場ではなく、奇跡を共感する場、未会員のみなならず会員への普及の場でもあるという面で葉と乖離している点も同様です。「朝からとても良い勉強ができるからおいでよ」ではなく、「朝くれば絶対幸せになれるからおいでよ」がモーニングセミナーと純粹倫理を一致させる大本です。

そのような思いから、7月2日〜4日にかけて、県主催による4つの純粹倫理講座を開催いたしました。庄内中央、山形市蔵王のご協力で感謝申し上げます。

この企画に無くてはならない講師が豊島区倫理法人会の工藤直彦専任幹事でした。工藤氏からは4回に渡り素晴らしい提言を頂きました。感謝申し上げます。

普及と会員拡大をごちゃ混ぜにしてはいないか?と工藤氏。組織の拡大は必要、これは是非やっていただきたい。そして普及は純粹倫理を『あまねくおよぼす』のだから、入会イコール普及とはならない。

正しい普及の意味は「入会した方が倫理指導を受けて苦難を解消する倫理体験(超常識体験)をし、純粹倫理の正しさがわかれば、それを友人知人に伝えていただくこと」にあります。超常識体験によって得た『純粹倫理の正しさ』を伝える場がモーニングセミナーなのです。

また研究所に払うお金は月謝である。月謝であるからには上達がなければ払う価値が無い。もし英会話教室に入会して毎月の謝金を払いながら、いつまで経っても英語がしゃべれないならば、誰が考えてもそれはおかしいし辞めてしまおうが当たり前です。

純粹倫理のベテランや役員は、倫理指導を受け富士研に行き「お世話役」としての研鑽を積んで普及しなさいとのこと。単会においてはモーニングセミナーの運営をよくよく検討し是非正しい普及の場にしていただきたく思います。もしそうならば葉の16Pの4、7行目が起こります。自然と会の外から苦難解決を求めて人が集まってくる。今年度会員数目標は100社です、必ずやります的な言われやらされ会員拡大が先ではなく、むしろ正しい普及をやってやってみよう。

葉に書かれていることと会の活動に齟齬がないかを確認しあい、会員の苦難克服に多くの方が手を差し伸べる会になっていただきたい。むしろその方が会員が増えるし辞めませんよと工藤氏。今回、北極星がくつきり見えませんでした。羅針盤は手中にあり。まずは倫理指導を受ける方をどんどん増やしていきますよ。

(山形県倫理法人会 副幹事長 土屋和浩)

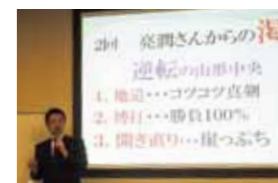
山形県倫理法人会主催

おもしろ 経営塾

平成27年度より
始まった「おもしろ
経営塾」は、あま
り倫理普及されて
いない地域に準拠点
を作り倫理の仲間作
りを拡げて行こうとい
う思いからスタートし
ました。



好評から派生
した第二弾、「先
人に学ぶ、おもしろ
経営塾」を、新たに米



最初の取り組みとして、長井市
倫理法人会ご協力のもと「小国おもしろ
経営塾」を白森ショッピングセンター
「アスモ」多目的ホールで開催しました。
毎回様々な分野で活躍されている講師
陣を招いて着実に回を重ね、参加され
た多くの方々に、倫理法人会の取り組
みや学びについて理解を深めていただ
きました。その結果10社以上の方が入
会されるなど、嬉しい成果も出てきて
おります。

「おもしろ経営塾」は山形県倫理法人
会の拡充活動における一つの柱として、
今後も継続的に発展、継続していく予
定です。是非会員の皆様の多くのご参
加お待ちしております。

先人に学ぶ、おもしろ経営塾

いまから400年前、米沢に移り住むようになった「上杉家」は、政治的にも経済的にも大きなハンディを背負いながら、家臣団とその家族の存続のために、謙信に学んだ「義」を貫き、直江兼続は「この米沢で何ができるか、何をすべきか」理想的な社会を築くために、能力と知恵と熱意の全てを注ぎ込みました。その歴史が米沢に住む人々やまちの至るところに刻み込まれています。

未来を予測して、自ら積極的に学んで自己を確立。これで良いと自己を肯定し、相手の立場でものを考え、力を尽くすことができる。他人に対して素直になり、相手の喜びを自分の喜びと感じられるようになる…これぞ、まさしく「倫理の教え」に直結いたします。

【27年度の活動】

- H26.11月 「上杉鷹山の訓え」
明るい未来を拓くために…PART1
- H26.12月 「上杉鷹山の訓え」
明るい未来を拓くために…PART2
- H27. 2月 「伝国の辞」
- H27. 4月 「個の自立と社会」
- H27. 5月 「譲の教え」

小国おもしろ経営塾【27年度の活動】

- H26. 9月 「底力を養おう」
(株)アサヒ印刷代表取締役 岩見信宏氏
- H26.10月 「マメに生きる」
(株)でん六代表取締役 鈴木隆一氏
- H26.11月 「倫理は小国という宝に生かされて」
(株)三奥屋代表取締役 近清剛氏
- H26.12月 「白いカラスと隣の女房」
倫理研究所法人アドバイザー 藤本定明氏
- H27. 1月 「三方よし アラカルト」
(株)マルナカ中村商店代表取締役 中村恒一氏
- H27. 2月 「ありがとうの心」
県立山形中央高校教諭・野球部監督 庄司秀幸氏
- H27. 3月 「活力朝礼の実践」
山形市中央倫理法人会朝礼委員長 菊池勇棋氏
- H27. 4月 「噂の研修体験と父への手紙」
山形県倫理法人会広報委員長 五十嵐久仁子氏
- H27. 5月 「倫理を学び、そして経営塾を卒業した今」
(株)庄司製作所代表取締役 庄司大氏
- H27. 6月 「地方創生と倫理」
(株)シベール創業者 熊谷真一氏
- H27. 7月 「イザベラ・バードの山形路」
東北文教大学客員教授 渋谷光夫氏
- H27. 8月 「倫理と出会って人生が変わった」
倫理経営インストラクター 横山時子氏